

文書 ID 080150-05A\_03  
作成日 2025 年 6 月 23 日  
改定日 2025 年 12 月 17 日

## 安全データシート

### 1 化学品及び会社情報

製品の名称 : チャコールチューブ  
製品コード : 備考欄を参照  
会社名 : 柴田科学株式会社  
住所 : 埼玉県草加市中根 1-1-62  
担当部門 : 品質保証部  
電話番号 : 048-931-7276  
FAX 番号 : 048-931-0563  
推奨用途及び使用上の制限 : 無極性有機溶剤等の有機ガス捕集用吸着管  
備考 : 《対象品目》  
・ 080150-0533 : チャコールチューブ スタンダード 20 入  
・ 080150-0534 : チャコールチューブ 単層タイプ 20 入  
・ 080150-05341 : チャコールチューブ 単層タイプ 1000 入  
・ 080150-0535 : チャコールチューブ ジャンボ 20 入  
・ 080150-05402 : チャコールチューブ スタンダード 1000 入  
・ 080150-05422 : チャコールチューブ ジャンボ 1000 入

### 2 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的危険性 : 該当しない／分類できない  
健康有害性 : 該当しない／分類できない  
環境有害性 : 該当しない／分類できない

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

#### GHS ラベル要素

絵表示 : GHS 分類に基づく絵表示なし  
注意喚起語 : GHS 分類に基づく注意喚起語なし  
有害性情報 : GHS 分類に基づく有害性情報なし

#### 注意書き

[安全対策]  
使用前に取扱説明書を入手すること。  
煙／ガスを吸入しないこと。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

[応急処置]  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

[保管]  
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
施錠して保管すること。

[廃棄]  
内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理すること。

### 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲(%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
炭素（椰子殻活性炭）	100	C	非該当	非該当	7440-44-0

化学名および濃度を含む上記情報の一部についてはCBI（営業秘密情報）として記載が省略されている。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

### 4 応急措置

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診察／手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

情報なし。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

### 5 火災時の措置

適切な消火剤

噴霧水、粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂。

火災時の特有の危険有害性

燃焼時、一酸化炭素が発生する場合がある。  
粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成する場合がある。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の消火方法

危険を避けられれば、燃焼源の供給を停止する。移動可能な容器は、安全に行える限り火災場所から搬出する。移動が不可能な場合には、容器又は周囲に散水し冷却する。安全な距離から散水し容器を冷却し周囲の設備を保護する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火活動は離れた風上から行い、個人用保護具を着用すること。

### 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
風上に留まる。  
低地から離れる。  
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。  
作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。  
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。漏洩物を掻き集めてから容器に回収し、後で廃棄処理する。

二次災害の防止策

情報なし。

## 7 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん、煙を吸入しないこと。

#### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

「8 ばく露防止及び保護措置」に示す設備対策を行い、保護具を着用する。

#### 接触回避

「10 安定性及び反応性」に示す混触危険物質との接触を避ける。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

### 保管

#### 安全な保管条件

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。

適切な保管条件：直射日光、水濡れ、湿気に注意し、屋内で保管すること。

酸化剤から離して保管すること。

施錠して保管すること。

#### 安全な容器包装材料

ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン。

## 8 ばく露防止及び保護措置

化学名又は一般名	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
		日本産衛学会(2006年版)	ACGIH
炭素（椰子殻活性炭）	未設定	第1種粉塵：吸入性粉塵	吸入性粉塵 3.0mg/m <sup>3</sup>
		0.5mg/m <sup>3</sup> ；総粉塵 2mg/m <sup>3</sup>	；総粉塵 10.0mg/m <sup>3</sup>

#### 設備対策

活性炭は空気中の酸素を吸着する性質があり（特に湿潤状態）、密閉されたところでは酸素欠乏状態をまねくことがある。屋内で作業する場合は、作業者が直接ばく露しない設備とするか、または局所排気装置によって作業者がばく露を避けることができる設備にする。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

保護マスク

##### 手の保護具

保護手袋

##### 眼の保護具

保護メガネ

##### 皮膚及び身体

適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

##### 保護具

#### 特別な注意事項

情報なし。

## 9 物理的及び化学的性質

#### 物理状態

粉粒体

#### 色

黒色

#### 臭い

無臭

#### 融点／凝固点

データなし

#### 沸点又は初留点及び

データなし

#### 沸点範囲

#### 可燃性

可燃性あり

#### 爆発下限界及び爆発

データなし

#### 上限界／可燃限界

#### 引火点

データなし

#### 自然発火点

400～450℃

分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶
n-オクタノール／水 分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対 密度	0.42～0.52
相対ガス密度	データなし
粒子特性	破砕状 (20-40 mesh)

## 10 安定性及び反応性

反応性	分散し、舞い上がった場合、粉じん爆発の可能性が想定される。
化学的安定性	通常の取り扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	空気中での高温加熱や急激な酸化により発熱、発火の原因になる。 吸着物質の種類や濃度によっては、湿潤熱、吸着熱、反応熱などにより、発熱、発火の原因になる。
避けるべき条件	空気中での高温加熱、強酸化剤との接触。
混触危険物質	オゾン、液体窒素などの強酸化剤との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	データなし。

## 11 有害性情報

急性毒性(経口)	データ不足のため分類できない。 急性毒性(経口)の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
急性毒性(経皮)	データ不足のため分類できない。 急性毒性(経皮)の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
急性毒性(吸入：気体)	データ不足のため分類できない。 急性毒性(吸入：気体)の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
急性毒性(吸入：蒸気)	データ不足のため分類できない。 急性毒性(吸入：蒸気)の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。 皮膚区分を有する成分を含まないため、分類できない。
腫に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ不足のため分類できない。 眼区分を有する成分を含まないため、分類できない。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。 呼吸器感作性の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。 皮膚感作性の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。 生殖細胞変異原性の区分を有する成分を含まないため、分類できない。

発がん性	データ不足のため分類できない。 発がん性の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。 生殖毒性の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データ不足のため分類できない。 特定標的臓器毒性(単回ばく露)の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データ不足のため分類できない。 特定標的臓器毒性(反復ばく露)の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。 誤えん有害性の区分を有する成分を含まないため、分類できない。

## 12 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	データ不足のため分類できない。 水生環境有害性 短期(急性)の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	データ不足のため分類できない。 水生環境有害性 長期(慢性)の区分を有する成分を含まないため、分類できない。
残留性・分解性	データ不足のため分類できない。
水溶解度	データ不足のため分類できない。
生体蓄積性	データ不足のため分類できない。
土壌中の移動性	データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

## 13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合は、そこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14 輸送上の注意

### 国際規則

陸上輸送 (ADR/RID)	
国連番号	該当しない
輸送品名	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
指針番号	該当しない
海上輸送 (IMDG)	
国連番号	該当しない
輸送品名	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない

海洋汚染物質(該当/非該当)	非該当
IBC コード(該当/非該当)	非該当
航空輸送 (IATA)	
国連番号	該当しない
輸送品名	該当しない
国連分類	該当しない
危険性ラベル	該当しない
容器等級	該当しない

(備考)

活性炭は国連番号 1362 が割り当てられていますが、本製品は蒸気賦活法を用いて製造されているため、評価試験において自己発熱を示さないことから自己発熱性物質 4.2 から除外されます。

## 国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない

## 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

## 15 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	粉じん障害防止規則 炭素 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない 特化則に該当しない 有機則に該当しない
労働基準法	該当しない
食品衛生法	該当しない
じん肺法	炭素
消防法	指定可燃物 (石炭・木炭類 10,000kg 以上)

## 16 その他の情報

参考文献	NITE GHS 分類公表データ (2023) Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22) IATA 航空危険物規則書 第 65 版 (2024 年) 2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT) 2024 TLVs and BEIs. (ACGIH) JIS Z 7252 : 2019 JIS Z 7253 : 2019
------	--

2023 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）

厚生労働省 基安化発 0111 第 1 号(令和 4 年 1 月 11 日)

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP) (令和 5 年度 (2023 年度) 公表分まで))です。記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。